

## 【脈拍データをキャプチャするためのヘッドマウントデバイス】 Microsoft

### ①要約：

このアイデアは、眼鏡型デバイスに血圧センサーを搭載し、血圧を簡単に測定することで、日常生活における健康管理を支援するものです。眼鏡は一日中着用されるため、一般的なウェアラブルデバイスよりも利便性が高く、血圧測定の精度も高いとされています。

### ②目的：

このアイデアの目的は、利用者が常に身に着けている眼鏡を利用して、簡単に血圧を測定・監視できる環境を提供することです。また、加速度センサーを組み合わせることで、運動時の血圧変動や立ち上がり時の血圧低下など、さまざまな状況下での血圧をモニタリングする機能も取り入れられています。

### ③新規性：

このアイデアは、従来のウェアラブルデバイスとは異なるアプローチであり、眼鏡型デバイスを活用した新しい血圧測定方法です。眼鏡は一日中着用されることが多く、多くの人々が利用しているため、血圧測定の普及に有効な手段となると考えられます。また、センサーの位置やアルゴリズムの組み合わせにより、より正確な血圧の測定が可能となっています。

### ④独自性：

このアイデアの独自性は、眼鏡型デバイスに血圧センサーを組み込むという点にあります。一般的なウェアラブルデバイスはスマートウォッチやバンド型センサーが主流ですが、眼鏡型デバイスを利用することで、より多くの人々が血圧測定を行うことができます。また、加速度センサーを組み合わせることで、運動時や立ち上がり時の血圧変化にも対応するという独自の機能も持っています。

### ⑤経済価値：

このアイデアは、人々の健康管理を支援するという社会的なニーズに応えることができるため、経済的な価値が高いと言えます。血圧測定は健康にとって重要な指標であり、定期的な測定が求められるため、多くの人々がこのアイデアに関心を持つでしょう。また、眼鏡型デバイスは既に普及しているため、市場においても競争力を持つことが期待できます。